平成２９年度
石狩浜海浜植物保護センター事業報告

ＮＰＯ法人いしかり海辺ファンクラブ

運営について

今年度よりＮＰＯ法人いしかり海辺ファンクラブが石狩市より業務委託を受け事業運営を行なった。規程で定められている普及員２名の他に普及員の増員・有償ボランティアを配置したり、月に何度か外作業日を設けるなど、作業状況に応じて柔軟な対応をした。また月に1～2度、普及員の連絡会議を行い情報の共有と進捗状況の確認を行った。

年間目標

「リピーターと親子の利用増による来館者増」

Ｈ２９年度新規事業

① 通信紙「はまぼうふう」を毎月発行

② 季節の植物を紹介するミニ講座や館内外ガイドを毎週土曜に開催

③ 夏休み自然教室を夏休み期間中毎日開催し、合わせて特別講座も各週末に開催

④ 館内クイズを毎月更新

普及啓発事業（展示）

《テーマ》

・情報の発信と館内展示の連動

・展示を毎月更新し、来館者が「飽きない」展示

⑴一般向け展示

大型の海浜植物のカラーパネルを壁に掲示し、明るく親しみやすい館内作りをした。また観察園への入り口にホワイトボードを設置し、イラストを用いてどんな植物が観察できるのか分かりやすい掲示にした。

〔観察園入口ホワイトボード（7月）〕

〔観察園入口ホワイトボード（10・11月）〕

〔展示室壁面カラーパネル〕

「企画展」

4月29日～5月31日　「石狩浜の花ごよみ2016」　主催:石狩浜定期観察の会

6月1日～7月23日　白畠さんの「石狩浜マクロ写真展」　主催:白畠徹

6月1日～8月30日　「蜃気楼のふしぎ」

9月2日～9月17日　「海辺からのSOS～漂着ゴミが語る海の環境問題」

9月27日～11月3日　「第5回　石狩海辺の風景写真コンテスト」

⑵子ども向け展示（子どもの学び支援）

季節の動植物に関して楽しく学ぶ事の出来るクイズコーナーを月替わりで設けた。参加者には、しおりとメノウ等を景品として渡した。クイズが難しいとの感想があったため、質問部分に、どの展示を見ると答えが分かるのかヒントを出すなど、展示とクイズの連動を意識した。

〔館内クイズコーナー風景〕

「企画展」

5月1日～5月31日　「海浜植物と昆虫」どんな昆虫がいるかな？

6月1日～6月30日　「はまなすと昆虫」はまなすにはどんな昆虫が集まるかな？

7月1日～8月17日　「名無し沼の昆虫」どこにいるか探してみよう！

普及啓発事業（イベント）

⑴一般向けイベント

①はまなすの丘自然観察会（主催:ＮＰＯ法人いしかり海辺ファンクラブ）

5月から10月までの毎月の第1土曜日に、はまなすの丘公園木道を1時間で巡る初心者向けの観察会を開催した。

開催日:5月6日、6月3日、7月1日、8月5日、9月2日、10月7日　時間：10:30～12:00
参加者数:28名

②望来海岸不思議発見ツアー（主催：ＮＰＯ法人いしかり海辺ファンクラブ）

望来海岸を歩き、赤いハマナスの実やウンランなどの植物、石油湧出地などを観察した。

開催日: 9月3日(日)　時間: 9:00～15:00　参加費:300円　参加者数:15名

③ふしぎ発見イベント　毎週土曜日開催、各日13:00～13:30、予約不要

より多くの人に気軽に保護センターに親しんでもらうミニツアーを企画した。

【保護センターふしぎ発見館内ツアー】: 館内展示を普及員が説明する
開催日：5月6日、6月3日、7月1日、8月5日、9月2日、10月7日
【海浜植物ふしぎ発見ミニ講座】: 季節の海浜植物を紹介する
開催日：5月13日、6月10日、7月15日、8月12日、9月9日、10月21日
【自然ふしぎ発見観察園ツアー】: 観察園を散策し季節の植物を観察する
開催日：5月20日、6月17日、7月22日、7月29日、8月19日、8月26日、9月16日、10月28日

参加者数:46名

④ふるさと海辺フォーラム2017 In 石狩
（第5回石狩海岸フォーラム、主催：ＮＰＯ法人いしかり海辺ファンクラブ）

日本各地で海辺の環境保全に取り組む団体と交流し情報共有を行い、地域と一体化した海岸保全活動に関する課題の検討を行った。1日目は各団体の事例発表とディスカッションを行い、2日目は石狩海岸を散策した。

テーマ :「海辺づくりから地域づくりへ」
開催日:7月8日(土) 13:00～18:05 ／ 7月9日(日) 8:30～13:30
場　所:弁天会館　参加費:一般300円　協力:石狩浜海浜植物保護センター
助　成:地域づくり団体活動支援　参加者：30名

基調講演 :「海岸は誰のものか？自然、人のつながりから協働管理を目指して」
北海道大学大学院農学研究院講師　松島肇

参加団体 : 名取ハマボウフウの会（宮城県）、七ヶ浜ハマボウフウの会（宮城県）、特定非営利活動法人ゆい（神奈川県）、ＮＰＯ法人サンクチュアリエヌピーオー（静岡県）、伊予高等学校（愛媛県）、中標津エコランド山菜工房（北海道）、北の里浜花のかけはしネットワーク（北海道）

コーディネーター:溝渕清彦（環境省北海道環境パートナーシップオフィス）

⑤石狩灯台点灯125周年記念イベント（主催:石狩市商工労動観光課）

石狩灯台点灯125周年を記念したイベントが今年初めて開催され、プログラムの一つとして参加した。寒くなり来館者が少なくなるこの時期に、多くの人が訪れる良い機会となった。

開催日:10月22日(日)
「流木で灯台アートをつくろう」11:00～14:00　講師：多田光義　参加費：300円
「流木でミニ灯台つくり」10:00～16:00　参加者数:20名

〔センター展示室・会場の様子〕

〔灯台アート講座準備の様子〕

〔灯台アート作品見本〕

⑵子ども向けイベント（子どもの学び支援）

《テーマ》

・子ども向けの触れて遊べる楽しい展示

・夏休み期間中、毎日自然教室の開催

①海辺のクラフト教室& 観察園クイズラリー

今年度より夏休みの期間中、平日も含め毎日自然教室を開催した。お盆には帰省中の家族連れが多く来館した。またクラフトは子どもだけではなく、大人も楽しんでいた。

期間:7月26日(水)～8月20日(日)　参加者数:266名（保護者含む）

プログラム:①ペーパーウエイト、コルク板でフォトフレーム、ハマニンニクコースター、植物タネのマグネット飾り、押し花のしおり（土日のみ）、葉っぱのスタンプでハガキ作り（土日のみ）②観察園クイズラリー

②夏休みこども自然教室

夏休み期間中の土日祝のみ、自由研究としても活用出来るような特別プログラムを用意した。プログラムは、自然案内人と普及員が講師として準備から開催まで行った。

《各回共通》
時間:10:00～12:00　参加料:大人300円・子ども100円（草木染めのみ材料費別途300円）　定員10名・要申込

「流木アート」
開催日:7月22日(土)・23日(日)　講師:多田光義　参加者数:16名
20センチ程度の作品を流木を使って作成した。

「海辺の昆虫さがし& 標本作り」
開催日:7月29(土)・30日(日)　講師:安田秀司　参加者数:6名
観察園で昆虫を探し、バッタや蝶の標本を作成した。

「植物ミニ標本作り」
開催日:8月5日(土)・6日(日)　講師:山田織江　参加者数:10名
海浜植物の押し花標本を作成した。

「砂の中のお宝さがし」
開催日:8月11日(金・祝)・13日(日)　講師:石田哲也　参加者数:13名
砂の粒を顕微鏡で観察してプレパラートで持ち帰った。

「草木染め」
開催日:8月12日(土)　講師:後藤みや子　参加者数:3名
はまなすの根や葉の染料でハンカチを染めた。

〔砂の中のお宝さがし作業風景〕

〔植物ミニ標本作業風景〕

〔植物ミニ標本完成作品〕

〔草木染め作品〕

〔流木アート完成作品〕

〔海辺の昆虫さがし・
標本作り作業風景〕

③その他子ども向けイベント

「春の生き物さがし」　主催:ＮＰＯ法人いしかり海辺ファンクラブ
石狩に生息するエゾサンショウウオとエゾアカガエルの卵を探した。
開催日:5月13日(土)10：00～15：00 参加料：大人600円•子ども300円　参加者数:31名

「自分で作ったたこをあげよう」　主催:ＮＰＯ法人いしかり海辺ファンクラブ
自分で作ったたこを砂丘と海辺で揚げて、風の強さや向きを体感した。
開催日:5月20日(土)10：00～12：00 参加料:1人300円　参加者数:17名

「いしかり海辺ナイトウォーク」主催:ＮＰＯ法人いしかり海辺ファンクラブ
夜の石狩浜を河口まで歩いた。　ビーチコーミング、星空観察、生き物探しを行なった。
開催日:8月5日(土)17：00～20：30　参加料:大人600円•子ども300円　参加者数:18名

〔春の生き物さがし観察風景〕

〔凧揚げの様子〕

〔いしかり海辺ナイトウォーク
ビーチコーミングの様子〕

〔いしかり海辺ナイトウォーク
砂浜散策の様子〕

その他普及啓発事業

海浜植物の種子配布

海浜植物により親しみを持ってもらうため種子の配布を行った。自分で管理できる場所以外には種子を播かないよう注意喚起を促した。また、種子のみ持っていく来館者が多かったのでアンケートに記入をした上での持ち帰りを促した。

配布総数：1200袋
内訳：ハマボウフウ（291）、エゾカワラナデシコ（225）、ハマヒルガオ（228）、ハマエンドウ（306）、ハマハタザオ（150）

観察園と再生園の整備

①観察園

目標:外来種の除去。来館者が歩きやすく分かりやすい表示と整備

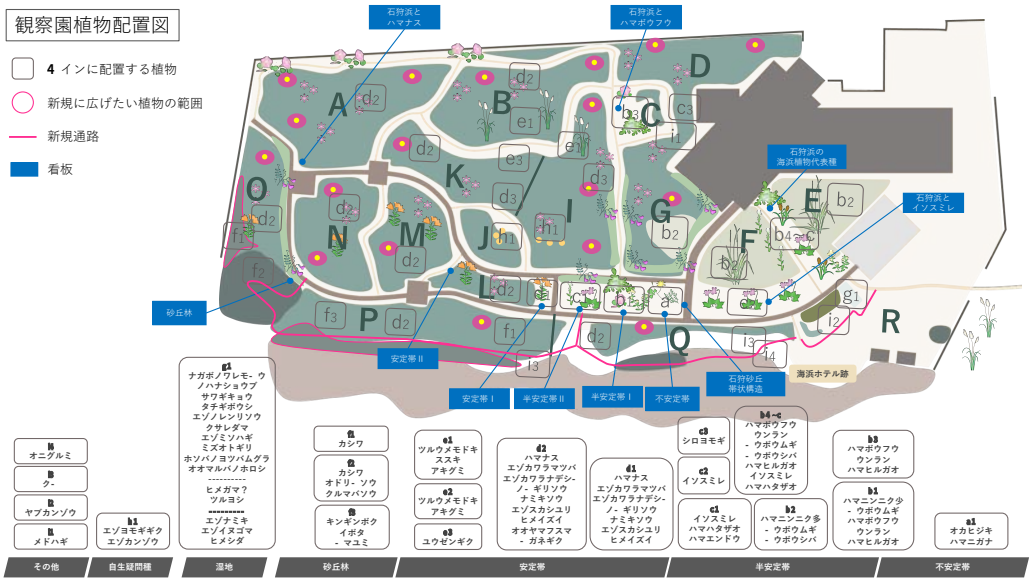
今年度は改めて観察園の各ゾーンにどのような海浜植物を配置するのが良いのか、また観察園であるという強みをどの様に生かすべきか考えた。作業は大きく以下の3点に主点を置いて行った。

・来館者が散策して分かりやすい配置・種名表記がなされている事

・環境学習等で使用する際に石狩海岸の説明がしやすいゾーン分け・景観になっている事

・各場所に生育していても良い植物と除去すべき植物の分類

これにより、効率的な作業状況の共有と確認ができた。更に、ゾーン分けを行なった事により、帯状構造の連なりが視覚で分かる様になり環境学習等の際に非常に役立った。また昨年度まで設置していた観察園クイズラリーの看板は、その都度参加者に説明する方がより学びにつながるとの観点から、イベントの際に設置し、スタッフを配置した。



②再生園

目標:ハマナスの苗の育成及び移植方法の確立を目指す

・大きな鉢に移してしっかりとした根を張らせる

今年度は、根をしっかり張らせ強く大きなハマナスの株に育てる作業に重点を置いた。その為に、大型の32センチ角の鉢を100鉢と、大(18センチ）・小(10センチ)大きさの違うポットを購入し、ポット内で根が張りきるより前にひと回り大きい鉢へ移す作業を行った。この作業はハマナスの育成に非常に良い効果をもたらした。

・開館直後に準備した32センチ角鉢（100鉢）は、全て再生園へ移植

・大ポットに移植した苗を32センチ角鉢（100鉢）へ移植

石狩浜環境学習支援

⑴学校支援

ESDに基づき昨年度作成した「石狩浜学習プログラム」を利用して環境学習を行った。

平成29年度石狩浜学習プログラム利用状況			
利用日	名称（学年）	プログラム名	人数
5月9日(火)	石狩小学校（5）	石狩川河口へgo！	12
6月26日(月)	花川南小学校（4）	海浜植物と砂丘の役割	51
7月14日(金)	石狩小学校（1）	ハマナスの再生を手伝おう・外来種の問題を考えよう	20
7月27日(木)	石狩教育研究会実技研修会	石狩川河口へgo！	40
8月17日(木)	屯田北中学校科学部	海浜植物と保全	15
9月1日(金)	花川南小学校（5）	海辺のゴミ問題	98
9月8日(金)	石狩中学校	石狩川河口へgo！・ゴミ・帯状構造の観察	34
9月28日(木)	石狩小学校（5）	はまなすの実でジャム作り	12
10月2日(月)	石狩小学校（5）	海辺のゴミ問題	12

学校数（延）：9校　　人数（延）：294名

⑵団体利用

平成29年度団体利用			
利用日	名称	プログラム	人数
4月24日(日)	北海道大学環境科学院	石狩海岸の自然レクチャー	7
5月17日(水)	東海大学関係者		3
5月21日(日)	自然と遊ぼう小組		8
5月29日(月)	北海道大学環境科学院	館内案内	7
6月4日(日)	ユリ協会		17
6月8日(木)	タクシー協会（商工労動観光課主催）	館内案内&観察園散策	20
6月11日(日)	木村さん山仲間	館内案内	10
6月13日(火)	発寒にこりんこども園	館内案内&観察園散策	81
6月18日(日)	ハマナス会		12

平成29年度団体利用			
7月9日(日)	森の倶楽部（北広島）	館内案内&観察園散策	20
7月10日(月)	花川北陽認定こども園	はまなすの丘公園案内	42
7月24日(月)	花川南すみれ会（歩く会）	館内案内&観察園散策	13
8月8日(火)	石狩管内中学校科学部	館内案内&観察園散策	70
8月9日(水)	ハマヒルガオネットワーク関係者	館内案内	5
9月2日(土)	留萌青年会議所シニアクラブ有志会	館内案内	5
9月14日(木)	花川北陽認定こども園	はまなすの丘公園案内・再生園観察	42
9月22日(金)	ハマヒルガオネットワーク関係者	館内案内	5
10月7日(土)	環境プラザ　エコクラブ交流会	館内案内&ビーチコーミング	40
10月15日(日)	札幌児童会館	館内クイズ&クラフト	16
10月21日(土)	イオンチアーズクラブ	ゴミ拾い	12
10月27日(金)	札幌教育大学地学研究室	館内案内&観察園散策	45

団体数（延）：21団体　　人数（延）：480名

情報発信

センター情報誌「はまぼうふう」を月1回発行した。子どもも読みやすい誌面にし、昨年度までは年4回、A3枚白黒だったものを、年6回A4両面カラーに変更した。4月号と7月号は石狩市内小中学校全校に配布を行い周知に努めた。観察園便りも昨年に引き続き月１回発行した。

〔はまぼうふう8月号表面〕

〔はまぼうふう7月号裏面〕

誌面裏面には「石狩浜クイズ」を掲載し、通信誌を読んだ子どもがセンターに来館するきっかけ作りを行った。

〔はまぼうふう5月号掲載〕

〔はまぼうふう7月号掲載〕

他にもマスコットキャラクターのマウちゃんを主人公とした4コマ漫画も毎月掲載した。

〔はまぼうふう5月号掲載〕

〔はまぼうふう7月号掲載〕

〔はまぼうふう8月号掲載〕

ハマナス再生プロジェクト

ハマナスをシンボルとした環境保全の啓発と地域づくりを目指し活動を行った。プロジェクト立ち上げから5年の節目となる今年は、助成金を申請し、魅力あるプログラムの提供を行なった。様々な分野で活動を行なっているはまなすフェスティバル実行委員が各分野でハマナスの普及に努め、幅広い個人・団体とつながりを持つことができた。

⑴はまなすサポーター

ハマナスの再生と普及のお手伝いをしてくれるサポーターを増やす活動。随時募集を行っている。今年は、9月に開催した「はまなす広場」において、苗の配布に加え、育て方講座と再生プロジェクトの説明を行うなど新たなサポーターの増加に努めた。

H29年度新規ハマナスサポーター数:66名
苗配布数:173鉢

⑵ハマナHealthyタイム

「野良仕事と茶話会で、心も体も健康に」をコンセプトに6～10月（8月除く）の第2木曜日、10:00～12:00まで再生園の除草と移植作業行った。毎回、企業サポーターに協力頂き、作業後にお茶やお菓子を用意した。石狩天然温泉番屋の湯の協力もあり、無料当日入浴券を毎回プレゼントした。

6月 8日(木)	（株）The StMonica	参加者:11名
7月13日(木)	（株）土倉	参加者:15名
9月14日(木)	La tab le verte	参加者:12名
10月21日(木)	後藤商店・NANAYA	参加者:11名

〔6月の再生園作業風景〕

〔7月のお茶会風景〕

⑶はまなすセミナー　　主催:はまなすフェスティバル実行委員会

植物療法家・トトラボの村上志緒さんを講師にお招きし自然散策や植物療法に関するお話と実習をして頂いた。参加料の設定が通常のイベントよりも高かったが、講師の人気とターゲットを絞り広報したため、キャンセル待ちが出るほどの申し込みがあった。これまでのイベントは石狩市近郊の市町村からの参加者がほとんどだったが、このセミナーは道外からの参加者もあり、今後のイベント開催の良い事例となった。

開催日:6月11日(日)
参加料:午前1500円、午後5500円、午前・午後6500円
10:00～12:00: 植物観察会「はまなすの丘ガイドウォー
13:30～16:00: お話と実習「北海道ハーブとハマナス～植物療法への活用」
参加者数:33名　　助成:一般財団法人セブンイレブン記念財団

〔ガイドウォークの様子〕

〔実習の様子/蒸留〕

〔実習の様子/コーディアル作り〕

⑷第5回はまなすフェスティバル　　主催：はまなすフェスティバル実行委員会

開 催 日:6月25日(日) 10:00～15:00
テ ー マ:「癒し」　　来館者数:670名　　参加企業数:8社
協　　力:石狩市観光協会、石狩天然温泉番屋の
温　　成:一般財団法人セブンイレブン記念財
助
団

同日開催:8:30～11:00　花摘み& 蒸留体験「香りのモーニングツアー」
ハマナスが良く香る朝に、海辺に咲く野生のハマナスの花を摘み蒸留する
参 加 者:15名　参加料:800円

今年度も多くの企業とボランティアに支えられフェスティバルを無事終えることができた。当日は朝から雨が降りテントの設営が大変だった。外は16度と寒かったが多くの人で賑わった。初めて開催した朝のツアーは、はまなすセミナーでの告知効果もあり定員に達した。ハマナスを利用したプログラムへの需要の高さがうかがえた。はまなすサポーターの新規登録が7組あった。

〔はまなすカフェの様子〕

〔館内の様子〕

〔フェスティバルチラシ〕

⑸はまなす広場　主催：はまなすフェスティバル実行委員会

開 催 日:9月23日(土•祝)　10:00～15:00
テ ー マ:「秋のハマナスをとことん楽しもう！」
参加者数:700名
同日開催:「砂丘ツアー」石狩浜の砂丘を現地で解説　参加者：4名
「魅惑のローズヒップツアー」ハマナスの実の収穫とジャム作り　参加者:6名
協力:石狩天然温泉番屋の湯　　助成：一般財団法人セブン-イレブン記念財団

石狩さけまつりと同日に開催した。ハマナスの苗の配布やはまなすゼリーとお茶の試飲試食、ローズヒップで作るリース作りなどを行った。当日は交通規制が行われており、センター前の道路が歩行者専用となっていたため、呼び込みがしやすかった。

⑹第5回海辺の風景写真コンテスト　　主催:はまなすフェスティバル実行委員会

今年度よりグランプリを、ハマナスを写した作品より選考することとした。
応募数：29点

はまなす賞(グランプリ)
「つぼみ」白畠徹氏

準グランプリ賞
「ノビタキの給餌」本多純氏

準グランプリ賞
「秋風に舞う」黒木一浩氏

石狩市長特別賞
「パレット」渡部昌樹氏

展示会場

H29年9月27日(水)～11月3日(金•祝):石狩浜海浜植物保護センター
H29年11月8日(水)～11月12日(日):石狩市民図書館
H29年11月27日(月)～12月5日(火):花川南コミュニティセンター
H29年12月11日(月)～19日(火):石狩市役所１階ロビー
H29年12月20日(水)～27日(水):花川北コミュニティセンター
H30年1月25日(木)～2月5日(月):札幌エルプラザ１階情報センター

石狩浜自然案内人養成講座

保護センターの活動支援ボランティア「自然案内人」の養成講座を行った。自然ガイドに興味のある人が集まるため、その後の活動に熱心に参加される人が多い。既に自然案内人になっている人も講師として参加してもらい、自然案内人のスキルアップの場にもなった。

開催日:5月27日(土)・28日(日) 9:30～16:00
事業運営：NPO法人いしかり海辺ファンクラブ　　参加者:8名

ボランティア活動支援

ボランティアによる定期的な情報提供等の活動支援を行った。

⑴石狩浜定期観察の会
はまなすの丘公園の定期的な動植物の情報収集と提供。
活動日(水曜日):4月19日、5月3日、5月17日、5月31日、6月7日、6月18日、7月5日、7月19日、8月2日、8月16日、8月30日、9月6日、9月20日、10月4日、10月18日、11月1日　　参加者:113名

⑵花砂丘仕事人(寒河江洋一郎氏)
はまなすの丘公園の植物の開花及び分布情報の提供。月2回程度活動。

⑶花畔・網(石川治氏)
石川氏が運営するHP花畔・網の紹介や季節ごとの石狩の自然情報の提供

〔展示室の様子①〕

〔展示室の様子②〕

ボランティア勉強会

ボランティアの情報共有と学びの促進

「ハマボウフウを食べよう！本町地区交流会」
開催日:5月15日(月) 13:00～15:00　参加者:13名
本町在住の方2名に講師をお願いし、自生のハマボウフウの採取方法と調理方法を学んだ。

〔調理風景〕

〔はまぼうふうの天ぷら〕

〔試食の様子〕

保護保全事業

⑴カントリーコードの配布（協働事業）

海水浴シーズン中の三線浜にて、石狩海岸利用者マナー（カントリーコード）パンフレットの配布を行った。

開催日:7月22日(土)、7月30日(日)　参加者:17名

⑵海辺パトロールウォーク（協働事業）

海浜植物保護地区外の海浜植生域のバギー車等の乗り入れ状況の調査と侵入防止柵の補修を行なった。

開催日:5月12日(金)、6月2日(金)、7月7日(金)、8月4日(金)、9月1日(金)、10月6日(金)、11月10日(金)
参加者:43名

連携事業

⑴石狩市社会教育施設連携事業（いしかり館ネットワーク）

ウミベオロジー/石狩海辺学2017　「ウミベに見える海の変化」
開催日:10月21日(土)　16:00～17:30

ボランティア講座
開催日:11月1日(水) 10:00～12:00　参加者:5名

⑵CISEネットワーク

サイエンスラボ　In ハッピーママフェスタ札幌へのブース出展
開催日:11月24日(金) 9:00～15:00

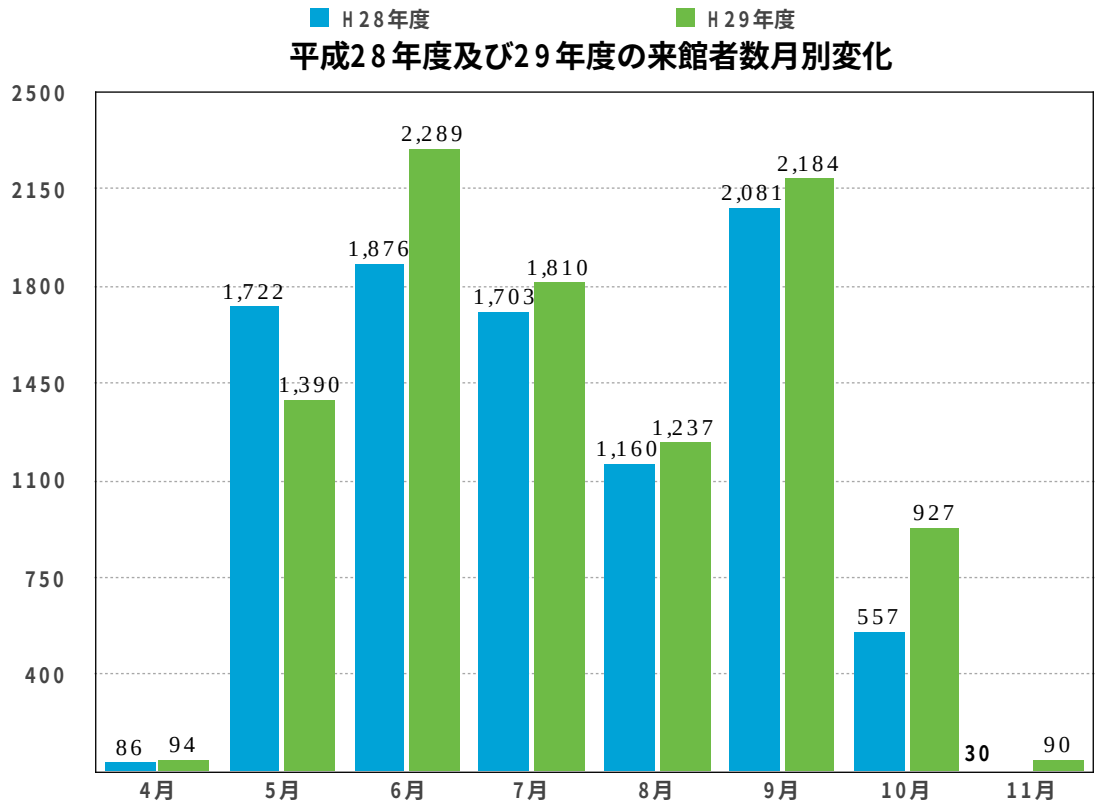
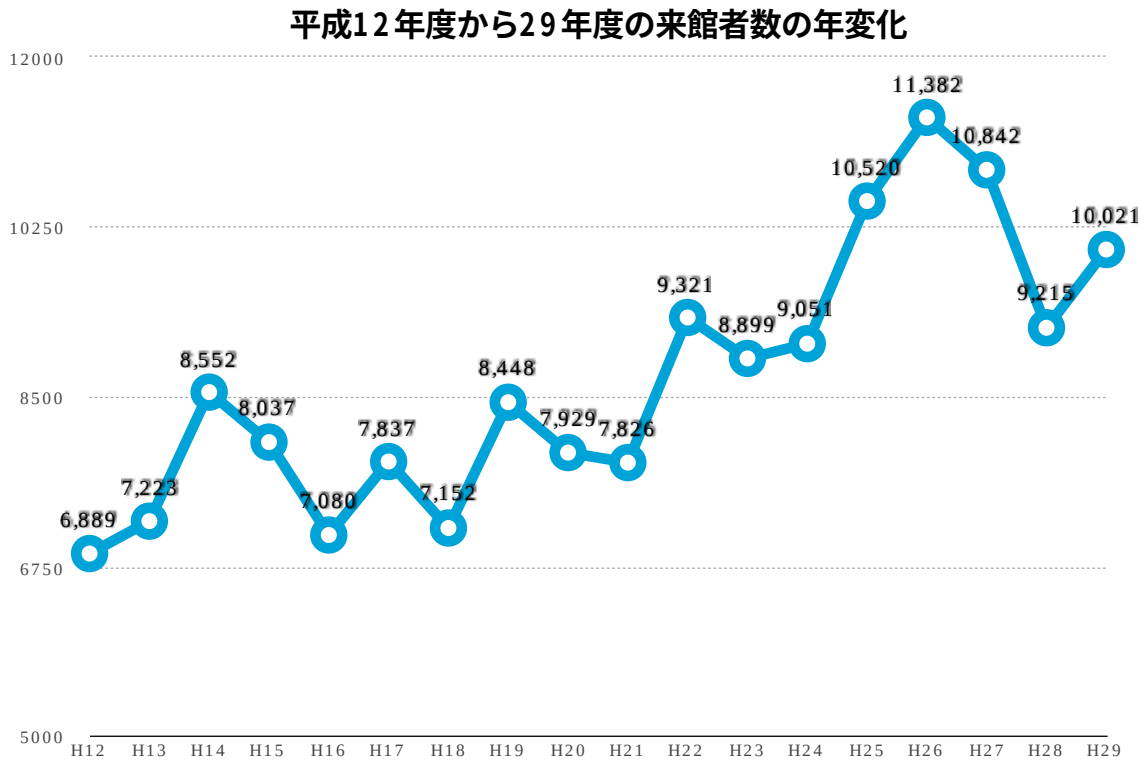
⑶北の里浜花のかけはしネットワーク

東北被災地海岸の海浜植生再生に関わる支援
5月23日(火)：苗植え(石狩中学校2年)
7月21日(金)：苗作り(石狩中学校2年)
8月25日(土)・26日(日)：名取にて植栽(石狩中学校3年)
10月4日(水)：苗の観察（石狩中学校2年）

寄稿

・モーリー47号～北海道生きもの調査２
ネイチャーセンター日記「おいでよ！海辺のクラフト教室」

来館者数



5月の来館者数が前年に比べ少なかったのは土日の天候の悪さが原因と考えられる。10月に灯台のイベント開催があったため、来館者数が前年度より多かった。
開館期間中（4月29日～11月3日）の来館者数：10,021人